

記入例

※ 機械及び装置が不均一課税の対象となります。

償却資産の申告を、電算システムにより申告される方は記入してください。一般方式により申告される方は記入不要です。

<令和○年度> 償却資産

No	資産種類	資産名称	数量	取得年月日	取得価額(円)	耐用年数	課税標準額(円) (全資産申告者に限る)	備考
1	1	〇〇〇〇新設工事	1	R◇.2.12	10,000,000	15	7,970,820	
2	1	アスファルト舗装	1	R◇.8.21	5,000,000	10	3,561,090	
3	1	〇〇〇〇設備設置工事	1	R◇.9.16	2,000,000	15	1,594,164	
4	2	〇〇〇〇装置	1	R◇.4.15	1,500,000	7	928,800	
5	2	〇〇〇〇機械	1	R◇.4.15	25,000,000	7	15,480,000	
6	2	〇〇〇〇設備	1	R◇.8.19	4,500,000	4	1,975,149	
7	6	〇〇〇〇治具	1	R◇.4.29	300,000	4	131,676	
8	6	〇〇〇〇端末	1	R◇.6.11	150,000	5	77,139	
9	6	パソコン	1	R◇.6.11	100,000	4	43,892	

○償却資産申告書と申請内容の比較
償却資産申告書と不均一課税申請書に記載されている資産の内容に相違がないことを確認しています。相違がある場合には正しいものに統一のうえ、提出をお願いします。

		〇〇〇〇装置 更新	※新增設された機械及び装置が不均一課税の対象となります。既存設備の更新等は対象外ですが資産管理上、資産名称に「更新」、「改造」、「入替」等が含まれていても新增設に該当する場合には、該当資産の一覧と該当する理由をまとめたものを別途ご用意ください。（様式任意）					
		〇〇〇〇機械 改造						
		〇〇〇〇設備 入替						
合計			9		48,550,000		31,762,730	

※資産種類は1. 構築物及び建物附属設備 2. 機械及び装置 3. 船舶 5. 車両及び運搬具 6. 工具器具及び備品から該当番号を選択してください。
 ※資産Noは平面見取図(添付書類)の番号と一致させてください。
 ※用紙が不足する場合は、お手数ですがコピーしてご使用ください。